

令和6年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 55

千葉県立柏高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者3名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ10分
(3) 作文	字数：500字以上600字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	調査書の評定の全学年の合計値で評価する。 評価1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が10日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が一つもない場合は、審議の対象とする。
エ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔15点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、s（優れている）・a（標準的である）・b（問題がある）の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（ss～bb）で得点化する。bbの評価の組合せが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機・ 高校生活への意欲	志望の動機が明確である。高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
イ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。
ウ 身だしなみ・態度	基本的な面接作法が身に付いている。服装頭髪等身だしなみが整えられている。

(3) 各高等学校において別に定める検査〔10点満点〕

作文

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、アについてはa（適切である）・b（問題がある）の2段階、イについてはs（優れている）・a（適切である）・b（問題がある）の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（s s～b b）で得点化する。b bの評価の組合せが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 文章の量	指定された字数に対して過不足がなく、適切な文章量である。
イ 内容	与えられたテーマに対して内容が適切である。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点	面接の得点	各高等学校において別に定める検査の得点	総得点
評定			
135点	15点	10点	160点

(2) その他

- ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。
- イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。